

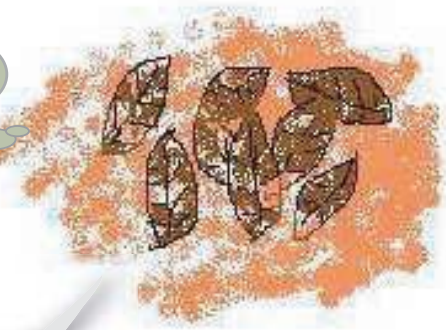
果樹カメムシの発生量予測

チャバネアオカメムシは年によって発生量が異なり、防除の判断が難しい害虫です。そこで発生が多い年かどうかを事前に予測する技術を開発しました。

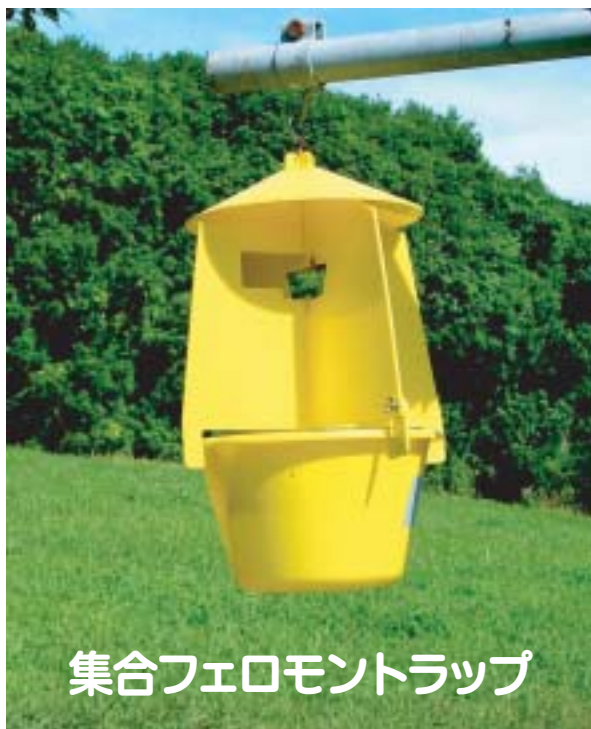


チャバネアオカメムシ

冬は落ち葉で眠っています

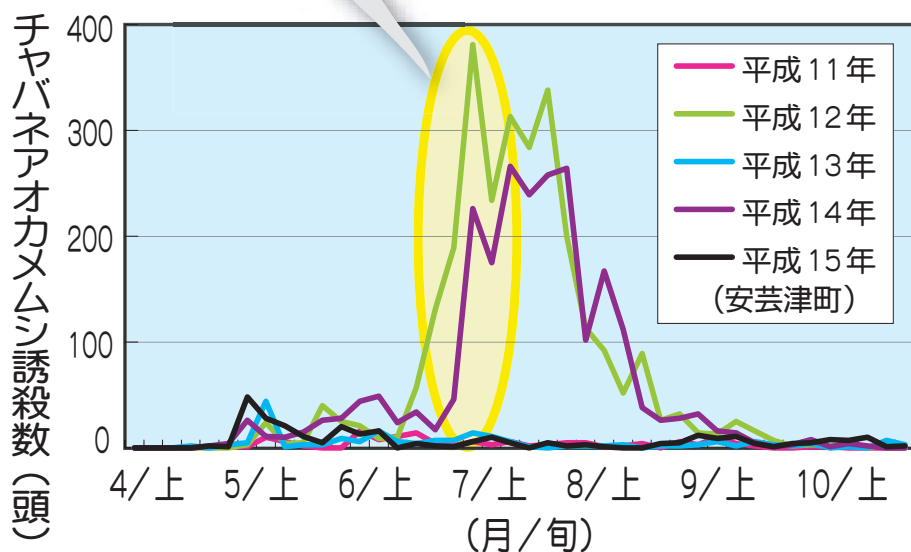


ここで多いと、翌年の夏までの発生が多くなります



集合フェロモントラップ

多発する年は、7月上旬頃から集合フェロモントラップ誘殺数が多くなります



👉 これらの調査を基に、病害虫防除所から発生予察情報が発表されますので、防除の参考にしてください。